「もぐもぐごっくん、おいしいね」

~離乳食の進め方~



★☆9~11 か月ごろ(離乳後期)☆★

野菜の煮物



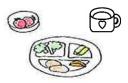


- 舌の動きは前後上下左右に 動きます 離乳食を歯ぐきに持っていき 歯ぐきでかみます。
- ◎3回食を軌道にのせていきましょう。
 - ⇒家族の食事の中からうす味のものを取り分け、調理方法や献立に変化をつけて、 偏食にならないようにしましょう。 お茶などの水分補給も心がけましょう。
- ◎自分で食べたがる意欲は大切にしましょう。⇒手づかみ食べがしやすい工夫も必要です。⇒遊びだしたら30分を目安に切り上げましょう。

《手づかみ食べの工夫》



ご飯をおにぎりに。 野菜類の切り方を 大きめに。



子ども用の皿に。
汁物は少量を。



汚れてもよい環境に。 (エプロン・レジャーシート等)



子どもの食べるペースを大切に。

◎コップの練習をしましょう。



- ◎鉄分をしっかりとりましょう。
 - ⇒離乳後期以降は鉄分が不足しやすいので、赤身の肉や青背魚、レバー等も使うように していきましょう。



赤身肉、レバーなど



まぐろ、かつお、 さば、いわし、さんまなど



ひじき 小松菜など

☆☆この時期の食べさせ方☆☆

- ①スプーンを下唇の上に のせ上唇が閉じるのを 待つ。
- (※スプーンを自分の口に 持っていこうとする姿もある)
- ②軟らかめの物は 前歯でかじり取らせる。
- ③舌を使って食べ物を 歯ぐきに移動させ、 ほっぺをふくらませ て歯ぐきでかみかみ する。

